

英国絵画とロマン主義

1/7 (土) 14:00~16:00

講師 ◆ 伊藤 悠貴 / 荒井 喜矩

共演: 中村 愛

内容 ◆ 第1部「英国絵画の系譜」

第2部「英国絵画とロマン主義」

西洋美術史に於いて、英国絵画は18世紀以降、著しい発展を遂げました。

取り分け、その後の時代の画家にも大きな影響を与えた

19世紀のロマン主義絵画は、英国芸術の中でも重要な作品群です。

本講義は、イギリスの代表的な画家や作品をご紹介します、

英国絵画の歴史を辿りつつ、音楽や文学にも触れ、

英国芸術により深く親しんでいただくことを目的とします。

実際に英国絵画や音楽を鑑賞しながら進めていきますので、

感覚的に楽しみ、学んでいただけるものと思います。

受講料 3,050円 定員 45名

会場 学園創立50周年記念館ホール

講師・共演者紹介

伊藤 悠貴 (いとう ゆうき)

(チェロ奏者)



15歳で渡英。王立音楽大学在学中、ブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝し、名門フィルハーモニア管弦楽団との共演でデビュー。これまでに国内外の主要オーケストラと共演を重ね、ロンドンのウイグモア・ホールをはじめとする世界各地

でのリサイタルを通して、生涯の研究対象であるラフマニノフ作品、イギリス音楽作品の普及に献身。小澤征爾氏のために行われた特別演奏会での独奏や、V.アッシュケナージ、J.ロイド・ウェバー、J.デ・メイ、X.ドゥ・メストレ、S.ザハロフなどの多分野にわたる世界的アーティストとの共演も数多い。2019年齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

荒井 喜矩 (あらい よしのり)

(絵画研究者)



印象主義芸術に於ける精神性の追求と発掘をライフワークとし、とりわけカミーユ・ピサロ作品、またディーリアス、ドビュッシーなどの印象主義音楽と絵画の相関性、蒲原有明や木下杢太郎などに見られる日本の詩歌に於ける印象主義を考究。加えてターナー、ワーズワスをはじめとする英国ロマン主義芸術、ドーミエ、モーパッサンなどのフランス自然主義芸術も

研究対象とし、絵画、音楽、文学の多角的視点から学際的な研鑽を積む。これまでに東邦音楽大学エクステンションセンターなどで講師を務める他、2022年にはクラシック音楽専門インターネットラジオ局OTTAVAIにて冠番組「荒井喜矩の印象探求」レギュラーパーソナリティに就任し、19世紀芸術理念の継承に注力。また東京都内美術館の企画展では公式タイアップ・コンサートの司会進行を担うなど、多方面で活動の場を広げている。

中村 愛 (なかむら めぐみ)

(ハープ奏者)



協奏曲、リサイタルのソリストとして精力的な演奏活動を展開し、国内主要音楽祭に定期的に客演。ロマン派作品のハープ版編曲、また知られざる名曲の発掘・研究をライフ

ワークとし、2022年には浜離宮朝日ホール主催によるオール・フォーレ・リサイタルに於いて自身の編曲による「レクイエム」チェロ&ハープ版全曲を世界初演するなど、各地で美演により紹介している。アルバムはキングインターナショナルよりリリース。

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問い合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>